



所在地 〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町1丁目6番37号
電話番号 06-6779-5521
HPアドレス <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e591244>
校長名 左海 克彦

【学校の概要】

本校は、明治42年(1909年)の創立で、令和6年で創立115年を迎えました。本校では、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康や体力」、いわゆる「知・徳・体」のバランスのとれた子どもを育成することを目標にしています。本校の特色は二つあります。

一つ目は、組織的な研究実践です。30年以上にわたって、社会科・生活科を研究の柱として、授業実践研究を進めており、その成果を市内だけでなく、全国の学校へ発信しています。日頃から研究活動を積み重ね、教師の指導力を高めるとともに、子どもの学力向上を図っていきたくと考えています。

二つ目は、地域との連携です。本校では、地域の方と連携してさまざまな行事を開催しています。また、地域の方々には、登下校時の子ども見守り活動に積極的に取り組んでいただいています。

本年度、児童数の増加に伴い、運動場東側に新校舎を増築いたしました。

【児童数】

(令和7年5月1日現在)

学年	児童数	学級数	特別支援学級数
1	123	4	4
2	101	3	
3	87	3	
4	91	3	
5	79	3	
6	91	3	
計	572	19	

【R6 全国学力・学習状況調査の結果】

【自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン】

平均正答率	国語	算数
学 校	66	62

平均正答率については、国語科・算数科共に大阪市・全国平均を下回った。

しかし、全国との差においては、全国平均まで国語科は1.7%、算数科は1.2%と迫った。

平均無回答率については、国語科は大阪市・全国平均を下回っているため、問題に対して取り組もうとしている姿勢がうかがえる。

【国語】

6つの領域のうち2つの領域で全国平均・大阪市平均を上回っている。特に「(3) 我が国の言語文化に関する事項」は全国平均を上回っている。一方で「A話すこと・聞くこと」は、大阪市平均より2%下回り、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め伝え合う内容を検討したり、自分の考えが伝わるように表現を工夫したりすることに課題がある。

【算数】

4領域中のうちすべてで、全国平均・大阪市平均を下回った。特に、「B図形」では、様々な図形の公式を組み合わせて答えを求める問題に課題があり、「A数と計算」でも、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述する力が十分に育っていない。

【R6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果】

【自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン】

平均値	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ	合計点
男子	14.98	20.26	30.78	39.80	40.22	9.65	156.07	20.80	50.72
女子	13.78	19.03	38.93	37.33	34.45	9.84	141.03	11.98	52.84

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

全国及び大阪市平均を上回ることができたのは、男子で3種目、女子で2種目だった。また、全国及び大阪市平均を下回ったのは、男子で4種目、女子で4種目だった。特に、20mシャトルランと50m走という「走」の運動で下回る傾向が見られた。児童質問紙「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目では、「好き」と回答した児童の割合が男子は全国及び大阪市平均を下回り、女子は全国平均と同率、大阪市平均を上回る結果となった。

令和6年の1学期までの約2年間、校舎増築工事のため、運動場が縮小されていた。その中でも、できることを児童とともに考え、工夫して活動を行ってきた。今年度も、委員会主導の「ボール投げ強調週間」や「なわとび強調週間」、昨年度より開始した「スタートダッシュ強調週間」を実施した。男子は全国及び大阪市平均を下回る種目数が増えたが、女子は下回る結果が減った。

今後は、広さが戻った運動場で、体力向上、運動への意識向上を目指す。特に、運動場の縮小であまりできなかった「走」の種目を中心に、記録の向上を目指す。

【主な学校行事】

(令和7年度)

4月	始業式・学習参観・学級懇談会
5月	修学旅行(伊勢志摩方面)・引渡し訓練
6月	プール開き
7月	期末個人懇談会・終業式
8月	始業式
9月	学習参観・学級懇談会
10月	5年アドベンチャー体験学習(岡山県津黒高原)
11月	運動会・5年体験交流会
12月	期末個人懇談会・終業式
1月	始業式・クラブ活動見学会
2月	入学説明会・学習参観・学級懇談会
3月	修了式

【学校説明会・見学会日程】

◆学校説明会

9月27日(土) 9:50~10:35
 10月3日(金) 9:50~10:35

◆学校見学会

9月27日(土) 10:45~11:15
 10月3日(金) 10:45~11:15

◎学校説明会(学校見学を含む)に参加ご希望の方は、事前に聖和小学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

【主な取組】

- 大阪市教育振興基本計画の基本的な方向の一つである「誰一人取り残さない学力の向上」の実現に向け、学習者用端末を活用し、基礎的基本的な知識の定着及び考える力や判断力などの向上を図る。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ますか」に対して、昨年度は、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合は34.7%であった。大阪市の平均を0.3ポイント下回り、授業の中で、積極的に話し合う活動を行っている。
- 一人一人の子どものスタイルに応じた学習のやり方も大切にしている。例えば、様々な事情で授業に参加できない子どもには、オンラインで取組に参加できるようにしている。

主な目標

【安心・安全な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍率を前年度より1ポイント減少させる。
- 年度末の校内調査において、「大規模な災害が発生したときに主体的に行動できる」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。



体験活動を大切にし、あたたかい地域とともに子どもをはぐくむ聖和小学校

【子どもの心と体を育てる「体験活動」】



授業ではパソコンの活用と共に、子どもが実物や本物に出合ったり、触れたりできる体験活動も大切にしています。特に、美しく雄大な自然の中で、学校の仲間と関わりを深める5年生の岡山県津黒高原の2泊3日のアドベンチャー体験学習や6年生の三重県伊勢・志摩の1泊2日の修学旅行は、聖和小学校の誇る取組となっています。



【聖和見守り隊の皆さんと毎日元気に「おはようございます」】

聖和小学校区は、大阪市の中で最も早く「小学校区教育協議会～はぐくみネット～」が発足した地域です。中でも、「聖和見守り隊」は地域の方々の参加も多く、PTAの見守り活動とともに子どもの登下校の安全を連日、しっかりと見守ってくださっています。いつもの街角で地域の方と毎朝元気に笑顔であいさつを交わせば心も通う。これも聖和小学校の伝統です。

【聖和地区名物！ 3大フェスタ】

聖和小学校の自慢できる特徴は地域との強い連携です。

地域行事として「聖和サマーフェスタ」「防災フェスタ」「もちつき大会・聖和フェスタ」の3つが毎年盛大に開催され、学校も全面的に協力しています。子ども達もとても楽しみにしています。

さまざまな行事や学習に力を貸してくださり、子ども達一人一人の成長をあたたく見守ってくださっている地域の皆様と、学校との強い絆が聖和小学校の強みです。



見守り隊の皆さん

標準服

有

無

※詳しくは学校ホームページをご参照ください。

真田山小

味原小

桃陽小

五条小

聖和小

大江小

生魂小

天王寺小

天王寺中

夕陽丘中

高津中